



しらね 3月号

みなさまのお蔭で ～「よい子」が育ちました～

学校長 持丸 隆一

卒業を前にして、6年生と3回目の校長室ランチを楽しんでいます。3回目のランチでは、6年生として、最上級生として「今年1年一番頑張ったことは？」「一番心に残っている出来事は？」ということを書き添えに書いて発表してもらっています。短い時間ですが、一人一人が今年1年の学校生活を振り返ってくれています。

児童たちは、様々な場面での自分自身の行動を振り返り、委員会の委員長として全校の生活をよりよくしようと頑張ったことや縦割り班の班長として下級生に優しく接してきたこと、そして、登校班の班長として下級生の安全を守ってきたことなどを書き添えに記していきます。自分自身の思い出、同学年の仲間との思い出、下級生に最上級生らしさを見せることができた思い出ということで、運動会での組体操で仲間と力や気持ちを合わせて演技をしたことを記している児童もいます。また、今年もなかよし委員会を中心に「あいさつ運動」に全校で取り組んだので、その先頭に立って活動したことや活動の中で成長したことを記している児童もいます。日々ランチを重ねるごとに校長室には、頑張った、立派に6年生としての役割を果たした児童たちの足跡が蓄積されていきます。

過日、校長室を訪れた地域の方が、その中の書き添えを見て、「こういう6年生がいる学校は素敵ですね」と褒めていただきました。その書き添えには「先生や地域の人に自分から進んであいさつをした」ということが記されていました。

6年生の振り返りは、どれも人とのかかわりの中で自分自身の成長を認めるものですが、今年はなかよし会議の振り返りで低学年からも「あいさつ運動」の成果として、「自分から地域の人にあいさつができるようになった」という意見がたくさん出されました。全校の児童が人とのかかわりの中で成長を感じられる一年となったことうれしく思います。



このような成長を児童が実感として感じられるのは、地域の人とのかかわりがたくさんあったからだと思います。日々の安全見守りの活動、ひと粒のそら豆さんの読み聞かせ活動、ブックレンジャーさんの読書環境の整備や企画イベント、各学年での学習支援（3年生のもちつきや2年のかけ算九九交流）など、多くの方が児童にかかわっていただいたことで、こういう成長を感じられる「よい子」が育ちました。様々な場面でかかわってくださったみなさま、1年間学校を応援してくださった「みなさまのお蔭」と感謝申し上げます。